

スカパーJSATの静止衛星管制と放送アップリンクの拠点

衛星管制副局：
山口ネットワーク管制センター
 (SPW: Space Port West) 山口県山口市



衛星管制副局：
茨城ネットワーク管制センター
 (SPE: Space Port East)
 茨城県常陸大宮市



放送アップリンク拠点：
スカパー東京メディアセンター
 東京都江東区

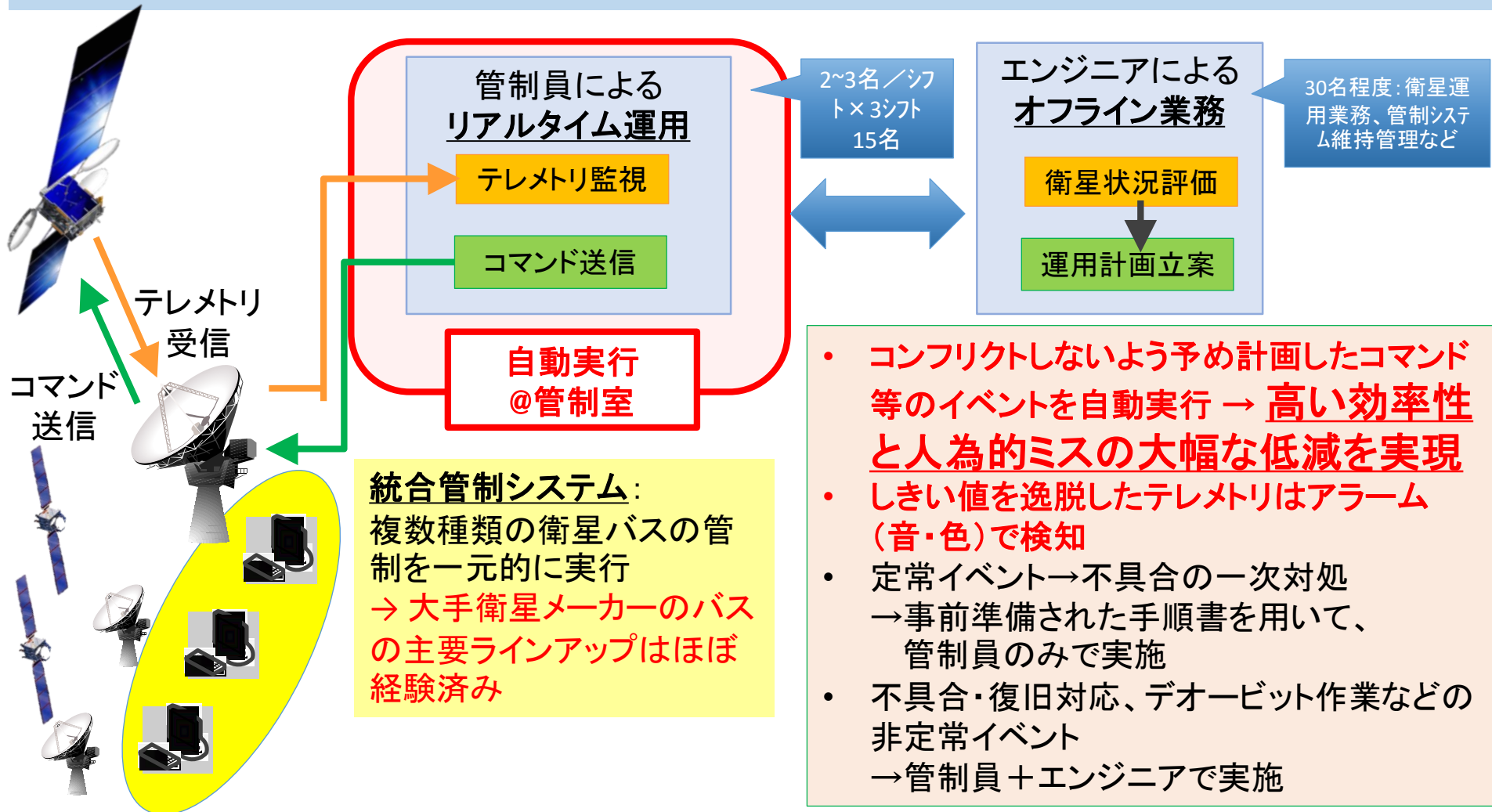


衛星管制主局：
横浜衛星管制センター
 (YSCC : Yokohama Satellite Control Center)
 神奈川県横浜市

静止衛星を横浜、茨城、山口の3か所から管制。衛星管制の常駐人員(24x365体制)は横浜のみ。
 放送アップリンクは東京都江東区(東陽町)から。

当社の衛星管制業務の概要

衛星本体の健康管理と衛星軌道位置の保持のため、受信した信号(テレメトリ)をもとに衛星の状態／軌道を把握し、制御するコマンドを送信



管制員15名、エンジニア30名で12機の衛星を運用。衛星一機当たり管制員1.25名、エンジニア2.5名で運用

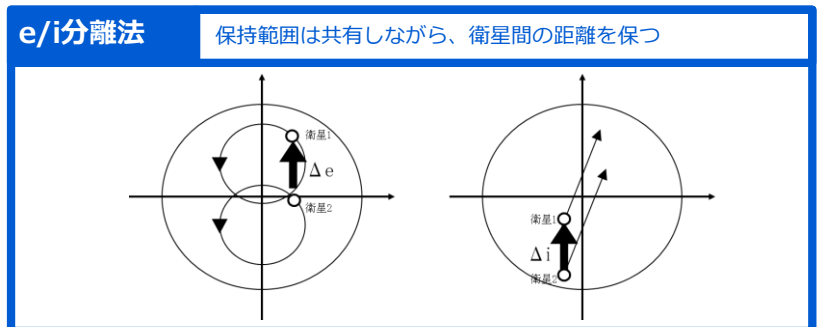
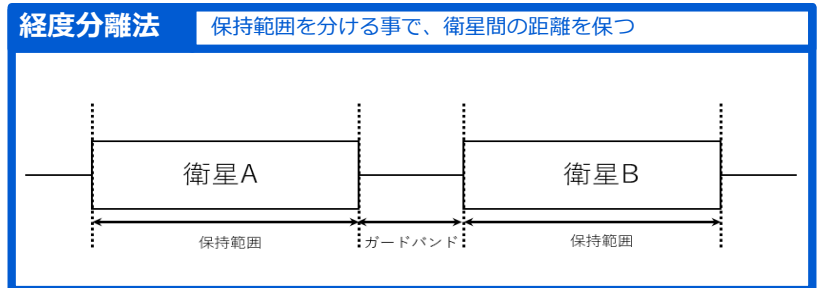
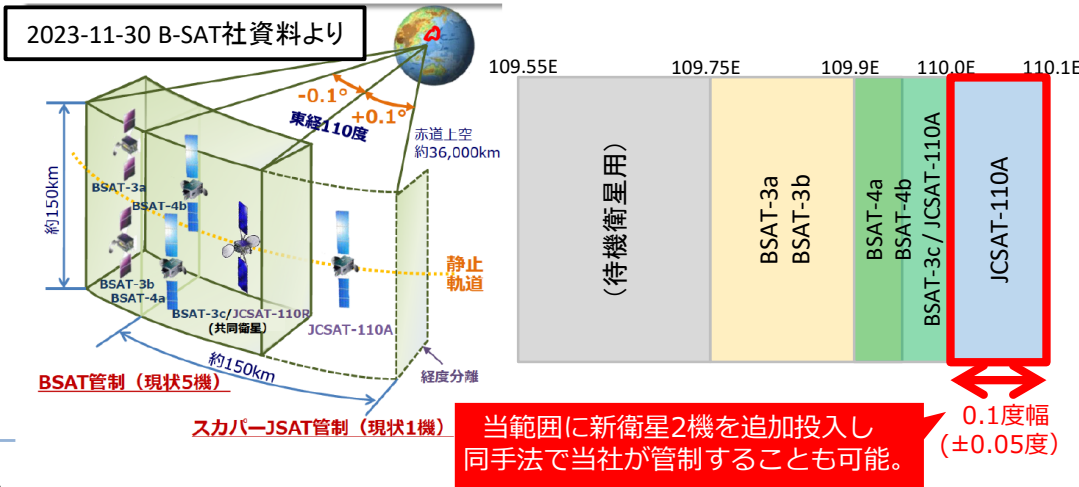
同一軌道における複数機での衛星管制について（補足）

- 我が国は条約で保証されたBS放送用軌道位置を2つ持ち、東経110度近傍で計0.35度の幅を確保

- 東経110.0度 ± 0.1度
- 東経109.85度 ± 0.1度
- さらに追加軌道位置（東経109.65度 ± 0.1度）も申請／登録済

- このうちの0.1度幅（東経110.0度～110.1度）を使い当社でJCSAT-110Aを運用 → B-SAT社との経度分離

- 東経110度に新衛星を2機投入した場合、e/i分離によってそれら2機の衛星を当社がJCSAT-110Aと同じ範囲で管制することが可能（他軌道位置にて実績あり）。



衛星間の接近を避けるように各衛星の離心率(eccentricity)と軌道傾斜角(inclination)を調整。限られた軌道保持範囲で単一事業者が効果的に複数衛星を管制する際の手法